

公 表

第30回技能グランプリ「紳士服製作」職種競技課題

下記の仕様に従い、別図(参考図)に示す片前(シングル)背広上着を仕立て上げ完成させること。

1	競技時間 10時間	(1日目 7時間 9:00~12:00 13:00~17:00)	
		(2日目 3時間 9:00~12:00)	
注意事項			
(1) 作品に店名及びネームの他目印になるものをつけないこと。			
(2) 課題の中で指定されたこと以外については、競技者の判断で行うこと。			
2 (3) 作業態度も採点の対象とする。 (不注意による工具の落下、騒音や他の競技者への迷惑行為)			
(4) 競技時間中に競技者間の工具の貸借は禁止。			
材 料 事前に支給した服地・裏付属品により「4.事前加工の内容」に従って仕立てた半製品を持参して競技場で完成させること。			
3	(1) 支給材料	服 地 2.4m	
		胴 裏 地 2.2m	
		袖 裏 地 1.4m	
		ポケット用スレー <u>キ</u> 1.3m	
		カラークロス 1	
		釦 中2・小8 (予備2を含む)	
(2) 各自負担材料 上記(1)以外に必要なものは、すべて競技者が手当てすること。			
4	事前加工の内容	下記に指示した内容の半製品を(競技者本人が)仕立てて持参すること。	
	(1) 仕 様	人台は「キイヤKMB 100」を使用する。 上記の人台を基に片前(シングル)背広上着・2ヶ釦で剣衿、サイドベンツ総裏とする。	
		指定寸法を基準にして、現時点の流行(トレンド)を「ほど良く」取り入れた中年向き(50歳を中心)用の注文紳士服とすること。 袖については上記にふさわしい丈と太さにする。袖口は3ヶ釦で本開け仕立てとする。	
	(3) 指定寸法	着丈75cm、肩幅46cm (0点~肩縫い線の袖付け仕上り位置まで) 衿(ラペル巾)8.2cm、ゴージラインはイラスト寸法の通り	

	<p>①腰ポケットは両玉縁でフラップ付。 口幅15.5cm、玉縁幅0.5cm、フラップ幅5.5cm</p> <p>②胸ポケットは箱ポケット。口幅11cm、箱幅2.7cm</p> <p>③釦間11cm</p> <p>④裏ポケットは上前、下前に作ること。片玉縁、両玉縁、南京玉縁のいずれかで、フタの有無は自由。釦付けはしないこと。飾り糸のカンヌキは禁止。</p> <p>⑤テケポケットの有無は自由。飾り糸のカンヌキは禁止。</p>
	<p>①前身頃作り</p> <p>②身返し作り</p> <p>③背中作り</p> <p>④袖作り</p> <p>⑤上衿の地衿作り</p> <p>⑥上前身頃はテープ吊り・からげ縫いまでを作る(身返し据えの前まで)</p> <p>⑦下前身頃は「身返し」返し、及び「まとめ」を完了して、脇縫い、肩入れを「本縫い」まで仕上げる。星縫い(ホシ入れ)は服地と同色系のミシン糸でラベル・前身端(身返しの裾幅まで)に入れる。ステッチの様に見える星縫いは禁止。前ボタンは付けないでおく。</p>
	<p>上記(5)で仕上げた各部を仮縫いの状態に仕上げて、会場下見(2月10日午前10:00～12:00)に持ち込むこと。この時、作業場所を抽選し、人台に「仮縫い着付け」を行って、人台との調整を図ってから仮縫いを解体する。ミシンの縫い調子、アイロンの状態を確認し、工具等の作業手配を整え、上前の前返しの準備をすること。</p>
5	競技会当日(3月2日～3日)は競技開始時(9:00)の20分前までに受付を済ませて集合し、アイロンの接続ほか作業の準備をして開始時間に臨むこと。なお、昼食時、終業時にはアイロンの電源を切ること。